

閉会挨拶

証券取引等監視委員会委員 浜田 康

1. はじめに

本日はお忙しいところ、多数の方々に本コンファレンスにご参加をいただき、また最後まで熱心にご参加を賜りまして、誠にありがとうございました。主催者を代表しまして、心から御礼を申し上げます。

特に、日本取引所グループ様、日本証券業協会様ほか、ご講演いただきました、日本取引所自主規制法人の佐藤理事長、香港証券先物委員会 CEO のオルダー様、それにご登壇いただきましたモデレーター及びパネリストの皆様におかれましては、本コンファレンス開催にあたり多大なるご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

2. コンファレンス議題と監視委員会の関係について

本日、ご議論いただいた3つのセッションは、いずれも昨今の我が国の資本市場がおかれております、非常に厳しい環境を踏まえ、監視委員会として今後何をしていくべきか、皆様のご意見を賜りたく、設定させていただいたものでございます。

第一セッション「貯蓄から資産形成に向けた実現のカギ」では、モデレーターの吉野様より、我が国証券市場の抱える課題及び今後の方向性についてお話をいただきました。

長年市場を見てこられた深い見識に基づいた強いメッセージは、我々も強く共感できるものでありました。

冒頭、油布(ゆふ)参事官から「貯蓄から資産形成」に向けた金融庁の取組みをご紹介いただきました。

野尻様からは、投資を促す環境整備や一方でこれからの取り崩し世代への対応等についてお話しいただきました。また高橋様からは、100年という時間軸で考えていらっしゃるといこと、ESG 投資への取組みなどについてお話をいただきました。市場関係者それぞれの役割に応じて、変化が求められているということを改めて認識させていただきました。

また、レーダー様より、進んでいると考えられている米国市場でも様々な課題があり現在も果敢にそれに取り組んでいるというお話を伺いました。当委員会も、引頭委員からお話ししましたとおり、対話と情報発信を通じた市場関係者の自己規律向上、市場の健全性維持に貢献を図っていく必要があるということを改めて認識いたしました。

第二のセッション、「グローバル企業のガバナンス」では、モデレーターの田中様にご説明いただいたように、昨今、グローバル企業の会計不正の問題、海外子会社のガバナンス上の課題が浮上する中、投資家による日本企業への信頼回復のためには、グループガバ

ナンスの一層の向上が喫緊の課題であります。

杉山様から、グループ全体を管理する難しさや人と人とのコミュニケーション等の工夫についてお話いただきました。紙谷様から、監査法人としてのお立場からグループガバナンスの難しさをご指摘いただきました。

また、斉藤様からは、日米企業の対比等を踏まえ、なぜ日本企業にコーポレートガバナンスが必要なのかといった問題意識についてご説明いただきました。オルcott様には、ガバナンスという観点で見たときの特に英国企業との比較をしたうえでの日本企業の特徴・課題を、また、アレン様より、投資家の立場から見たガバナンスの重要性をご教示いただきました。

グローバルに活躍する日本企業が、グループ全体の効率性を高めていくこと、ガバナンスという観点から投資家への説明責任を一層果たしていくことが大事ですが、監視委員会としましては、開示検査の適正性を担保し、不正の指摘はもちろんのこと、その根本原因としての企業態勢にまで踏み込んだ、より深い市場監視の取組みが必要だと強く認識した次第です。

第三セッションでは、モデレーターの岩下様より、IT 技術が進展する中での市場監視の在り方についてご議論いただきました。

貝塚様からは、ビジネスブロックチェーン技術ということでお話をいただき、松崎様からは、市場の実態をいかに正しく理解するかということが市場監視の肝であるという観点から、AI への取り組みについてお話をいただきました。

また、モハンティ様からお話いただいたシンガポールの先進的な取組みは、大変示唆に富むもので、我が国でも利用者保護と、イノベーション推進の両面から考えさせられることが多々ございました。

これら IT 技術の進展は、一方で分析対象データの膨大化等につながり、新たな市場監視の仕組みを必要とするものであります。

森田事務局長からお話ししましたように、官民双方の対話による、効率的・効果的な分析システムとしての RegTech・エコシステムの推進が益々重要と思われれます。この点について、当局だけでなく、是非市場参加者の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

3. 最後に

25 周年という節目の年を迎えまして、本日、このように、皆様から沢山のご示唆と応援(エール)をいただきましたこと、まことに有難く、証券監視当局への期待と責務の重さを感じ、襟を正す思いでございます。

今後も、ここにいらっしゃいます市場の皆様との積極的な対話を通じ、国民経済の持続的な成長への貢献を果たすとともに、投資の活発化への阻害要因となり得る市場の不正を、根本原因にまで遡って排除・防止し、プロとしての監視技術の向上を図っていく所存

です。

しかし、我が国の資本市場の発展は、市場関係者の皆様のご尽力・ご協力がなければ、実現できるものではございません。これからも、これまでと変わらぬご支援の程をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、私ども証券取引等監視委員会、そして本日お集まりの皆様の、更なる取組みにより、我が国の金融・資本市場が、より一層、健全に発展することを祈念いたしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

(以 上)